

用語とコード共有のための技術仕様(SVS,SVCM) バブリックコメントと回答表

No.	該当箇所	記述	コメント	コメントへの回答
1	3. 用語および定義	用語集	用語集の表に項目「本文中の表記」を追加し、そこに本文中で使う表現を記入する（例えば、本シート下部に記載したものを参照）。加えて「ITI」「DICOM」の説明を追加する。	「Digital Imaging and Communications in Medicine」、「Information Technology Infrastructure」について、用語および定義に追記いたしました。
2	6. Sharing Value Sets (SVS) : 値セット共有	6.1と6.2 1)では、「Value Set Repository」、「Value Set Consumer」、6.2 2)では「値セットリポジトリ」、「値セットコンシューマ」となっていて、アクタの名称の記述が混在している。 さらに6.2 1)では図6-2では「XDS Repository」、本文中で「XDSリポジトリ」と混在している。	アクタの名称は英語で統一すべき。	アクタの名称は英語名で統一しました。
3	7.2 ユースケース	「Terminology Repository」と「用語リポジトリ」が混在	アクタの名称は英語で統一すべき。	No2と同様です。
4	6.1 概要 7.1 概要		アクタの説明を入れること。 HELICSの医療情報標準化推進協議会レポート 2025.08 (https://square.umin.ac.jp/helics/html/files/HSxxx/IHE]_SVS-SVCM_Report_20250807.pdf) の【付録】にあるアクタの説明を追加するのが良い。 加えて7.1では各トランザクションの説明を入れること（下記No.5も併せて参照のこと）	アクタとトランザクションの説明を追記いたしました。
5	7.2 ユースケース		SVCMのユースケース記述は単にトランザクションの説明で終わっていて、SVSのユースケース記述（6.2節）とは記述のスタイルが異なる。記述のスタイルを（できるだけ）合わせるのがよい。具体的にはSVCM側のユースケースを、SVCMのサブメントのTF-1相当部分（ https://profiles.ihe.net/ITI/SVCM/volume-1.html ）にある「1:51.4.2 Use Cases」の内容をそのまま日本語化して掲載するのが良い。	SVSの原本（TechnicalFramework）とSVCMの原本（Supplement）では、ユースケースの記述方法が異なっています。原本の各ユースケース内容を忠実に翻訳していますが、SVCMのユースケース説明文にあたる部分について新たに追記を行いました。
6	6. Sharing Value Sets (SVS) : 値セット共有		「7. Sharing Valuesets, Codes, and Maps (SVCM) : 値セット、コード、マップの共有」の中には「7.2 セキュリティ」があるが、「6. Sharing Value Sets (SVS) : 値セット共有」にセキュリティに関する記述がない。SVSにもセキュリティに関する記述が必要。 6章内に「セキュリティ」の節を新設するのもよいが、内容としては7.2節とほぼ同じになるので、8章を新設して、そこにSVSとSVCMのセキュリティ条項をまとめて入れることも可能かと思う。	SVSにもセキュリティの節を追記しました。
7			IHE TF-1 21. Sharing Value Sets (SVS) には、21.1.4 The relationship between ITI SVS and CTSという節があり、SVSのValue Set Repositoryと、HL7 CTSおよびHL7 CTS2との関連性についての記述がありますが、これについて本文書内で記述する必要はないでしょうか？	HL7 CTSに関して日本国内への適用について議論が進んでいないと承知していません。そのため、敢えて記載しておりません。今後、適用に関する議論が進んだ場合は、追記を含めて検討いたします。
8	2. 範囲（1ページ/4枚目下段）	本仕様書は、医療施設内の情報システムから地域医療連携情報システムまでのあらゆる情報システムで利用されるコードマスターや値セット等の共有および管理を行うために必要な仕様を定めたものである。	IHE PaLMには、コードセットマスターがコードセットコンシューマーにコードセット全体を配布するために使用する、Laboratory Code Set Management [LAB-51] というトランザクションがございます。（HS022 JAHIS処方データ交換規約にも記載されています） Laboratoryにおいては、スコープが類似しているため、「医療施設内」を範囲に含まれるのであれば、（本書ではなく別文書ですが）IHE PaLM TF及び、HS022に記載の、LAB-51 MFN/MFKのスコープをOF (AnalyzerManager) とAnalyzer間に限定されるのはいかがでしょうか。	貴重なご意見ありがとうございます。IHE PaLMの関係者と情報共有いたします。

用語	本文中の表記	定義
Actor	アクタ	病院業務に関連した情報を作り出し、管理し、操作する情報システムや情報システムのコンポーネント
Health Level 7	HL7	医療情報交換のための標準規約で、患者管理、オーダ、照会、検査報告などの情報交換を取り扱う。
Technical Framework	テクニカルフレームワーク、TF	IHEにおける最も基本的な文書。IHEのシナリオモデルである「統合プロファイル」の他、通信処理（トランザクション）の仕様等が記載されている。